

# 第4幕

## 検証Ⅱ

～ ランキング依存する若者のゆくえ ～

# 大人になる条件ってなんだろう・・・？

## 大人力テスト

やってみよう！！

あなたは ？それとも × ？

恋人は見た目が重要だ

or ×

投票したことがある

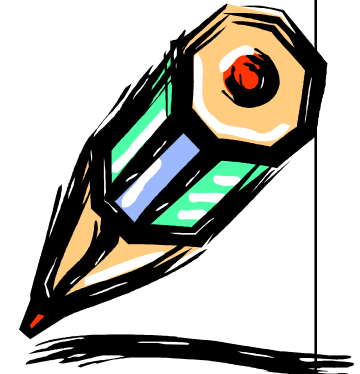
or ×

大学進学は自分の意志で決めた

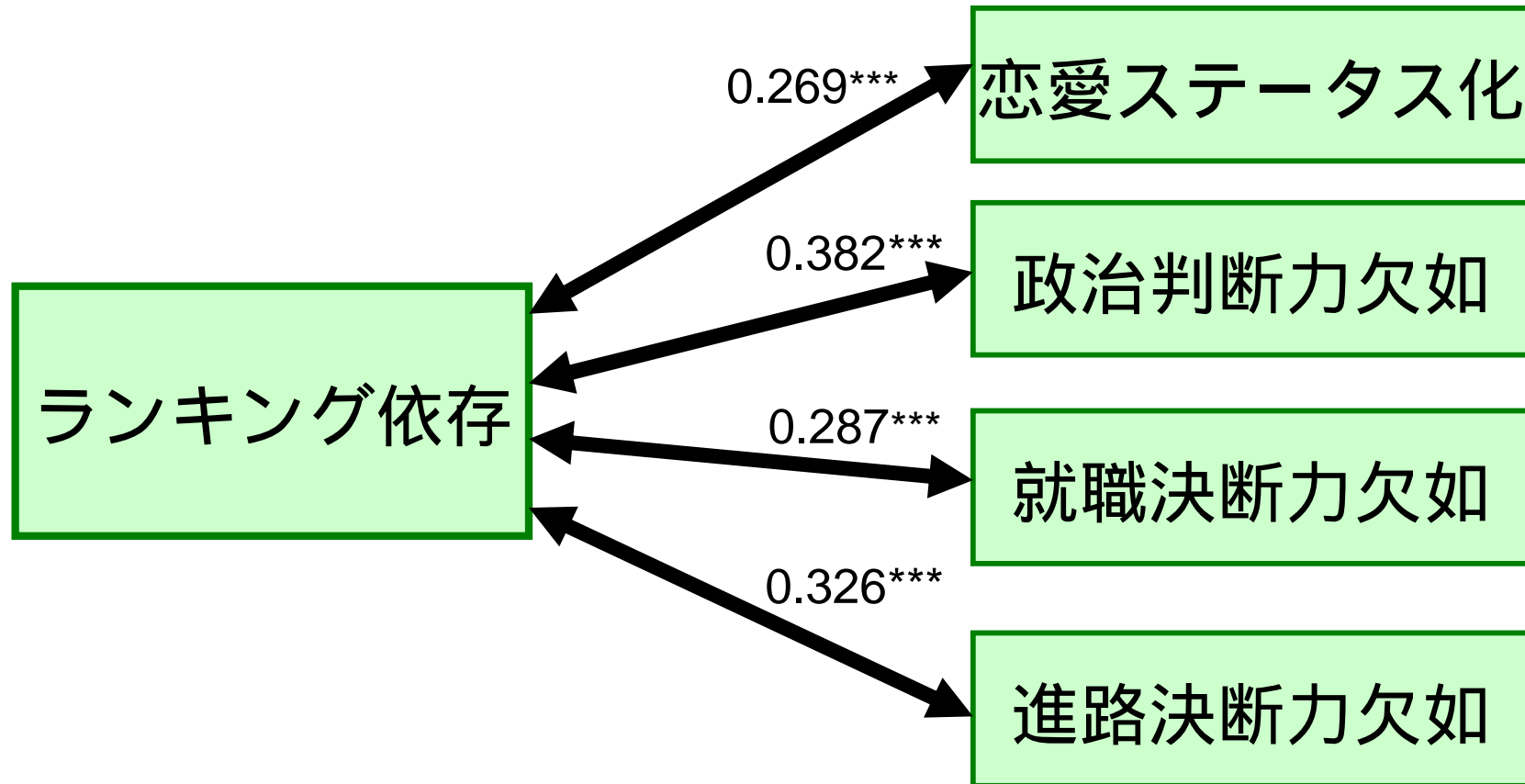
or ×

大学卒業後は絶対に就職する

or ×



# 将来観の相関モデル



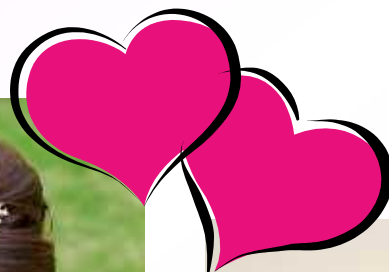
数値は相関係数 有意差水準: \*\*\* $p < 0.001$  \*\* $p < 0.01$  \* $p < 0.05$

ランキング依存と、将来に関わる意識は  
すべて関係している!!

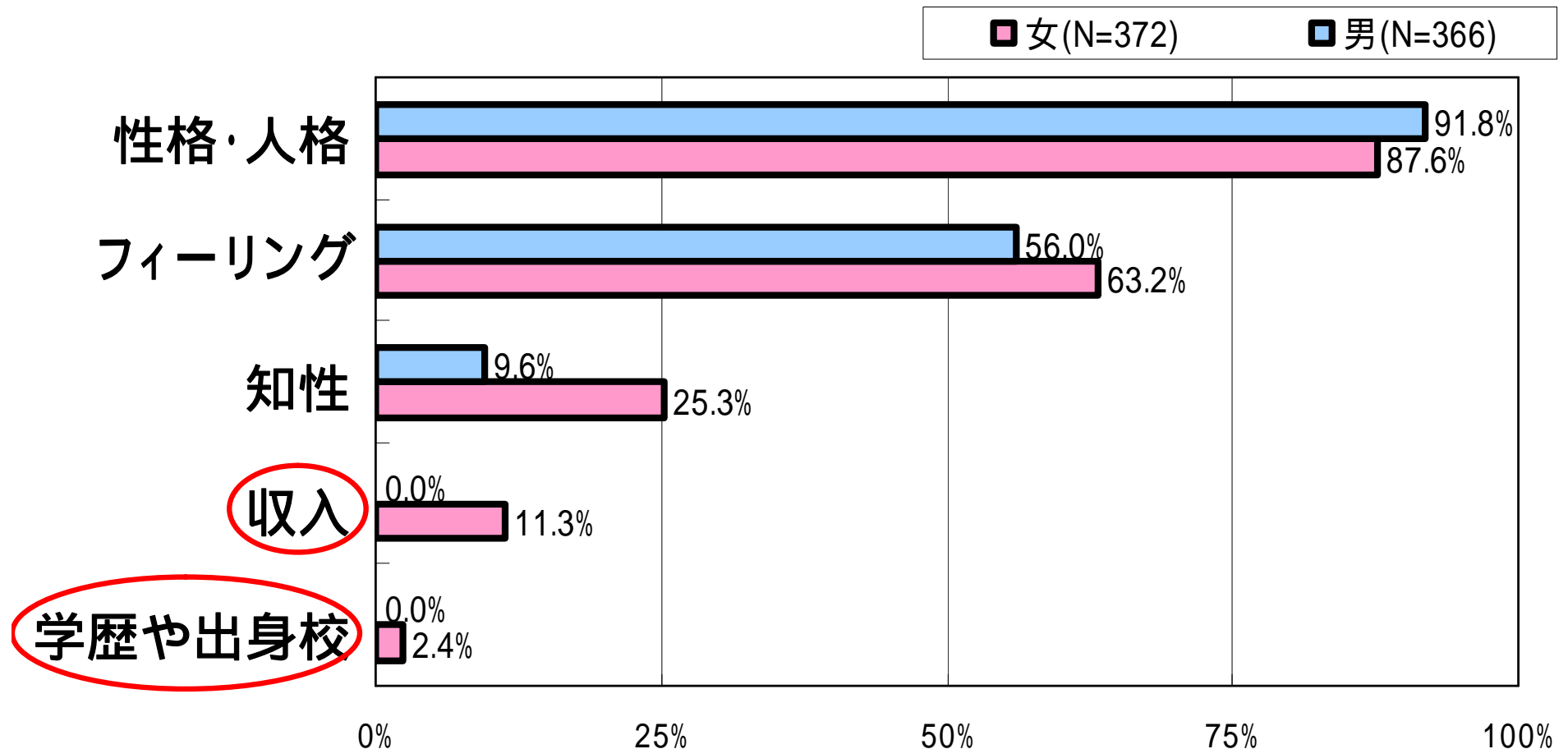
# それでは検証していきましょう



# 恋愛ステータス化



# 恋人を選ぶ際に重視すること



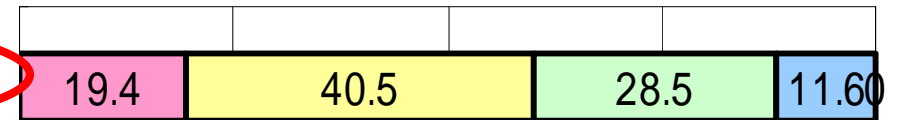
出典: オーエムエムジー(2005)「結婚学」白書 ことぶき科学情報 2000 - 2005

女性の方が、恋人の条件にステータス的要素を求めている

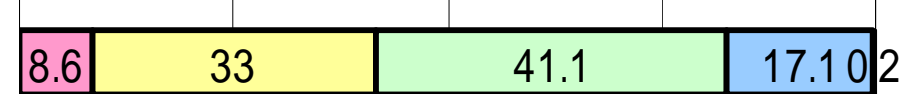
# 恋愛ステータス化 (N=509)

■ とてもあてはまる ■ ややあてはある ■ あまりあてはまらない ■ 全くあてはまらない ■ 無回答

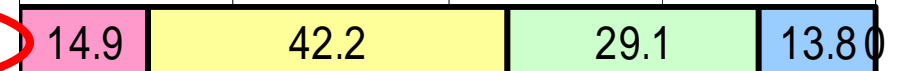
友達に自慢できるような人を恋人にしたい



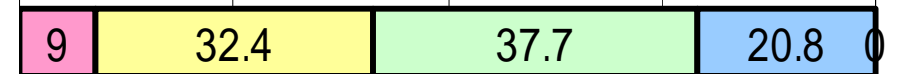
魅力ある異性の条件は  
多くの人々の意見によって作られている



結婚する相手の年収や職業は重要だ



学歴や身長は恋人を選ぶ基準になる



0% 25% 50% 75% 100%

大学生は、恋人を「友達に自慢したい」と考えていて  
結婚の条件として「年収や職業」を気にしている

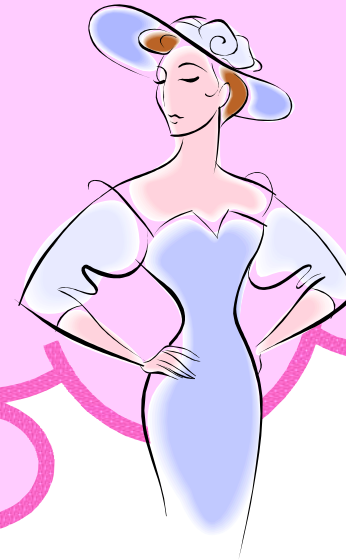
# 他人指向型人間

D.リースマン(1950)

他者や周囲の状況を  
伺いながら、周囲に  
認められることを  
目指そうとする人間



モデルみたいに細くて  
キレイな女性でいたいわ





# 他人指向(N=509)

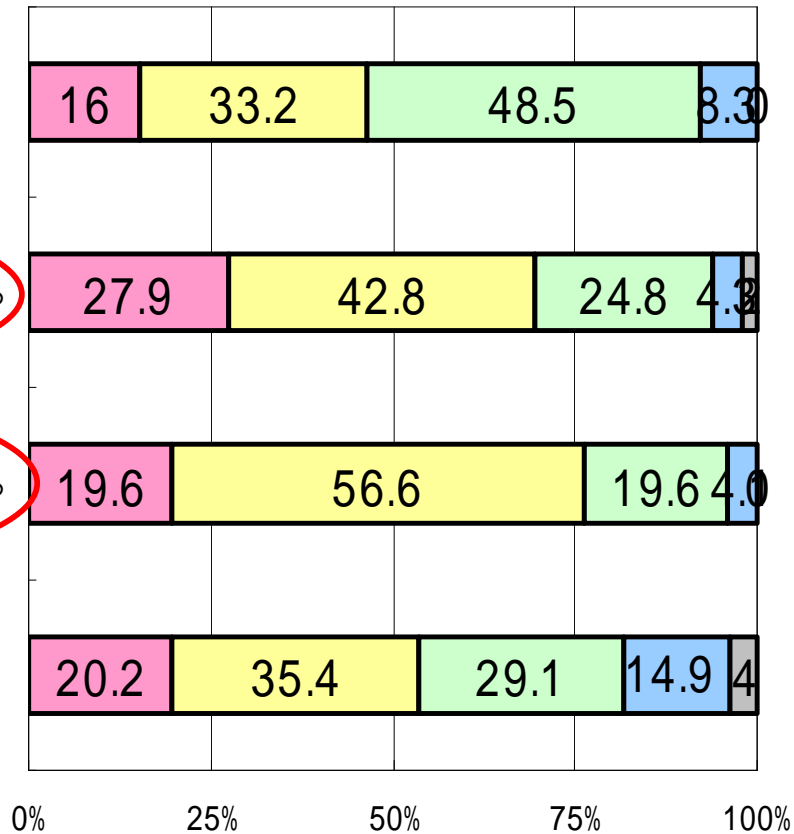
■ とてもあてはまる ■ ややあてはまる ■ あまりあてはまらない ■ 全くあてはまらない ■ 無回答

人を喜ばせるために  
自分の意見や行動を変えることはない

他人が自分をどう思っているか  
いつも気になる

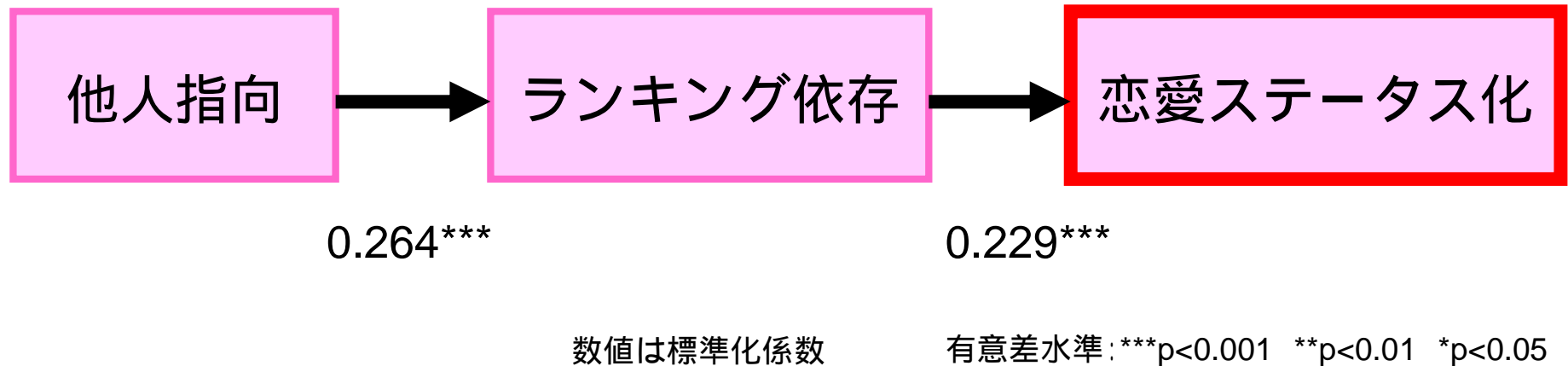
どうすればよいか自信が  
持てないときは、人を手本にする

他者の服装や化粧などが気になる



大学生は**周囲の目を気にして**行動している

# 恋愛ステータス化のパス解析モデル



周囲の目を気にしてランキングに頼り  
恋愛にステータス的な要素を求めるようになる

# 恋愛ステータス化した社会では・・・

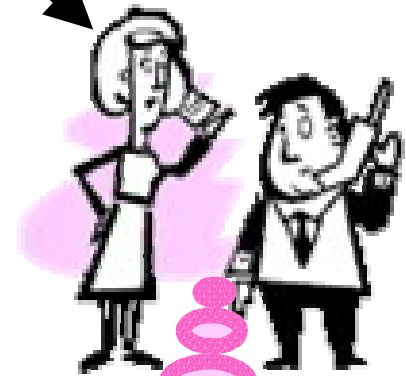
恋愛ステータス化した人 → 異性に学歴や容姿を求める



晩婚化



出生率の  
低下



離婚率  
の増加



©news.livedoor.com

©image.blog.livedoor.jp



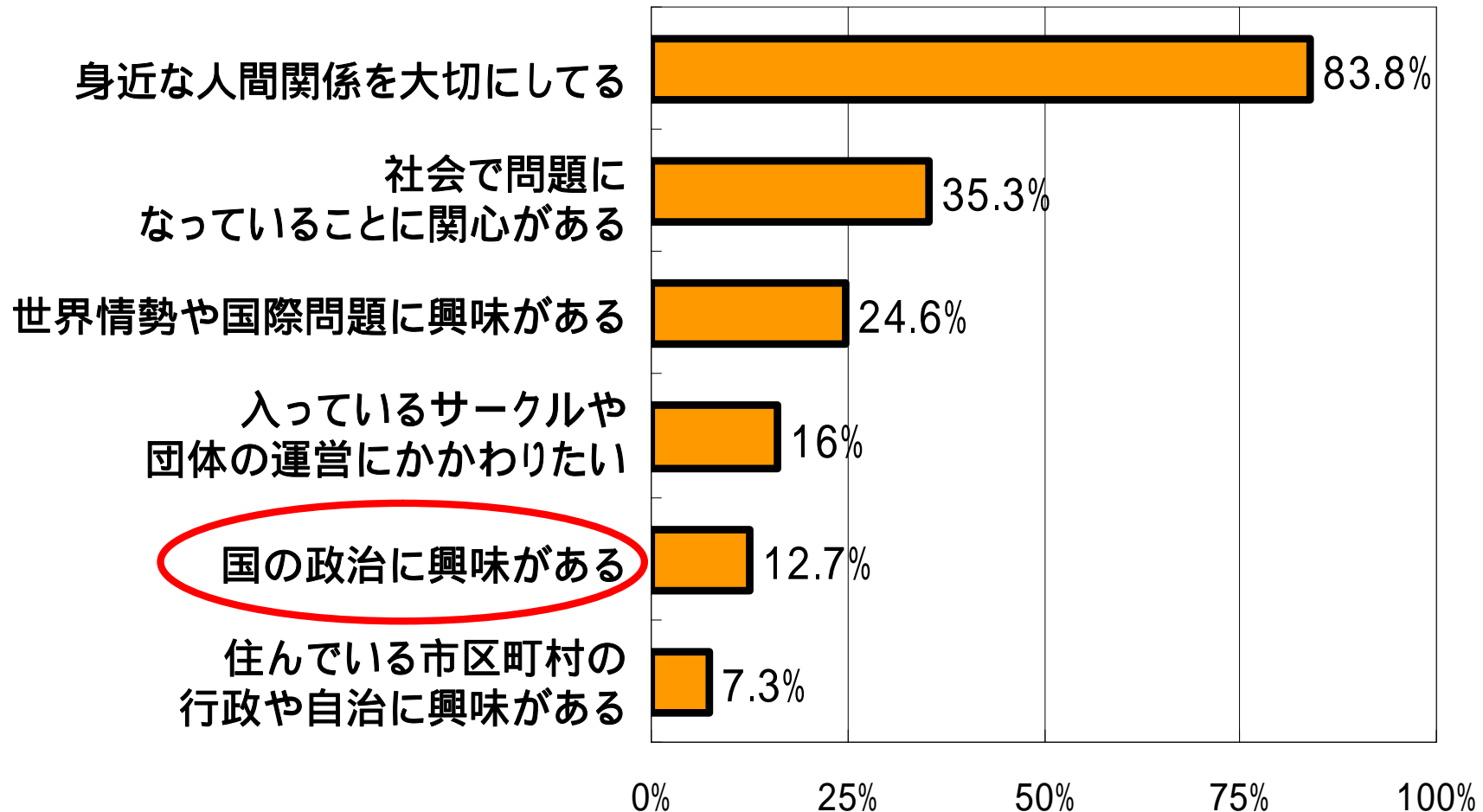
© blogs.yahoo.co.jp

# 政治に関する 判断力の欠如



© engaru.jp

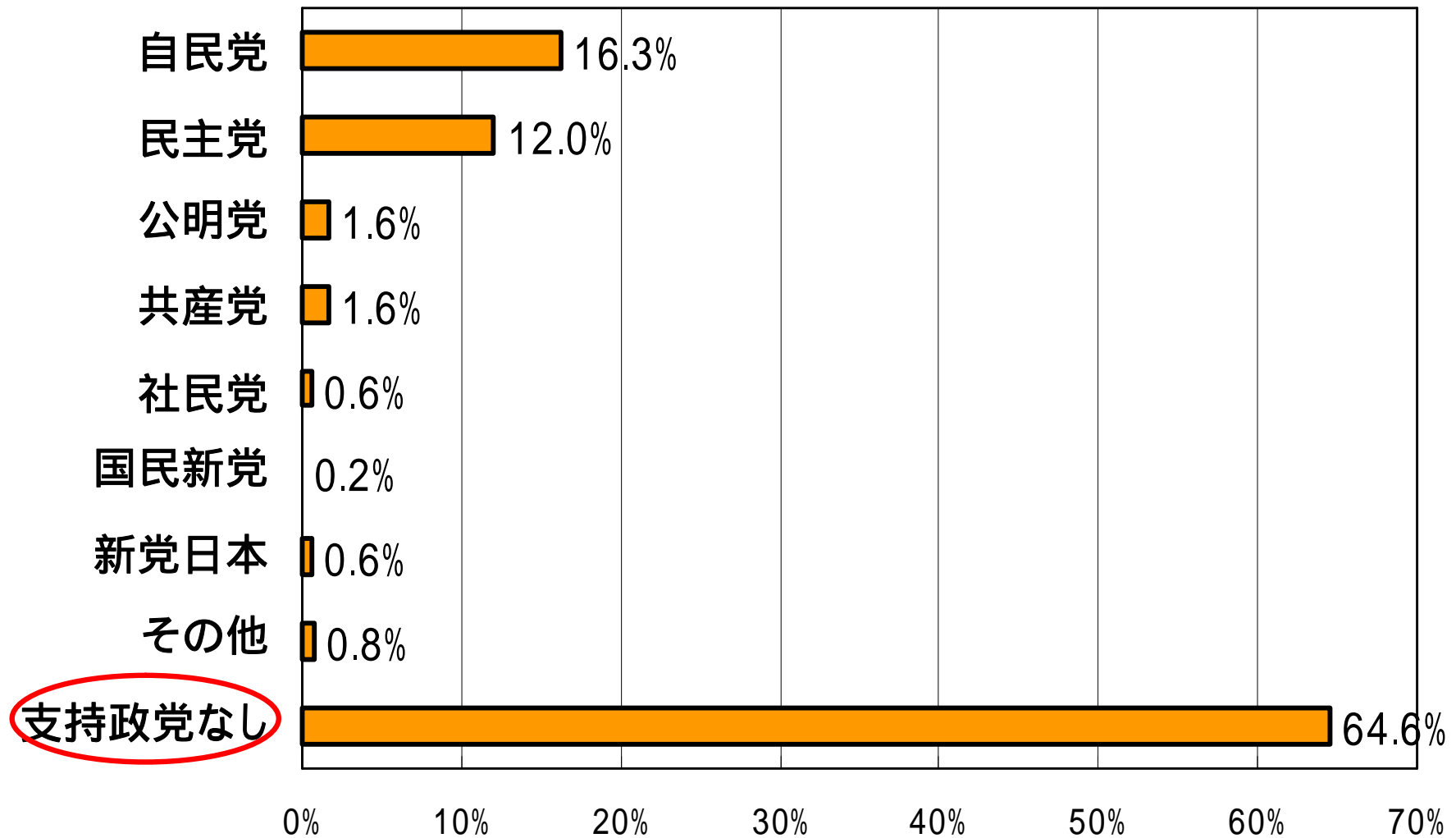
# 現在、関心を持っていること



出典：内閣府政策統括官 (2005)青少年の社会的自立に関する意識調査報告書

国の政治には、あまり関心がない

# 支持政党(N=509)



支持している政党がない大学生が圧倒的に多い!! 14

# 政治判断力欠如(N=509)

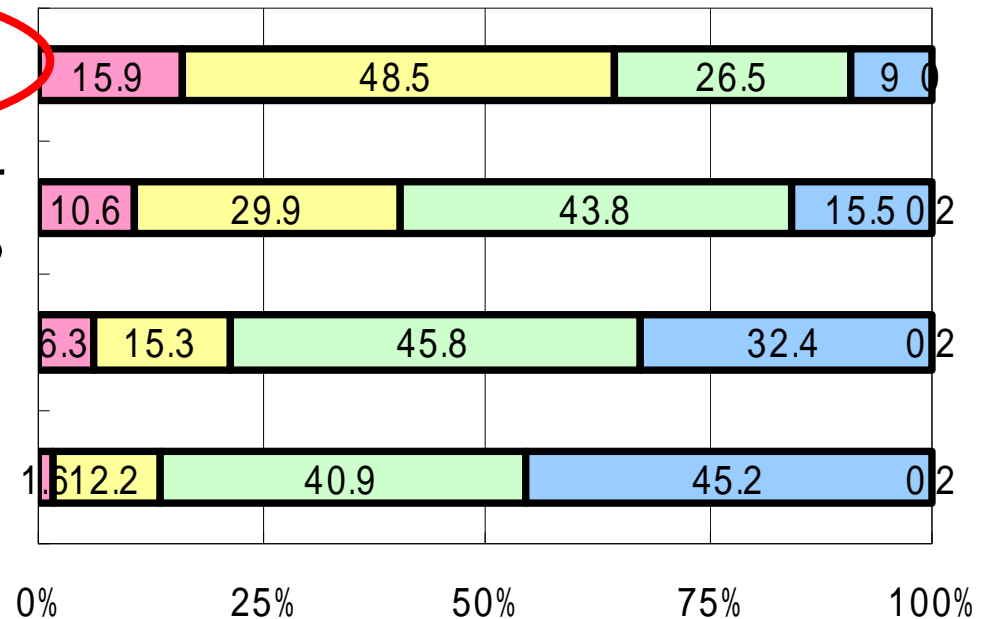
■ とてもあてはまる 
 ■ ややあてはある 
 ■ あまりあてはまらない 
 ■ 全くあてはまらない 
 ■ 無回答

政治家にとって知名度や  
人気は欠かせない条件だ

政治や政策について  
自分なりの意見やこだわりがある

落選しそうな候補者には投票したくない

人気の選挙候補者に自分も投票したくなる



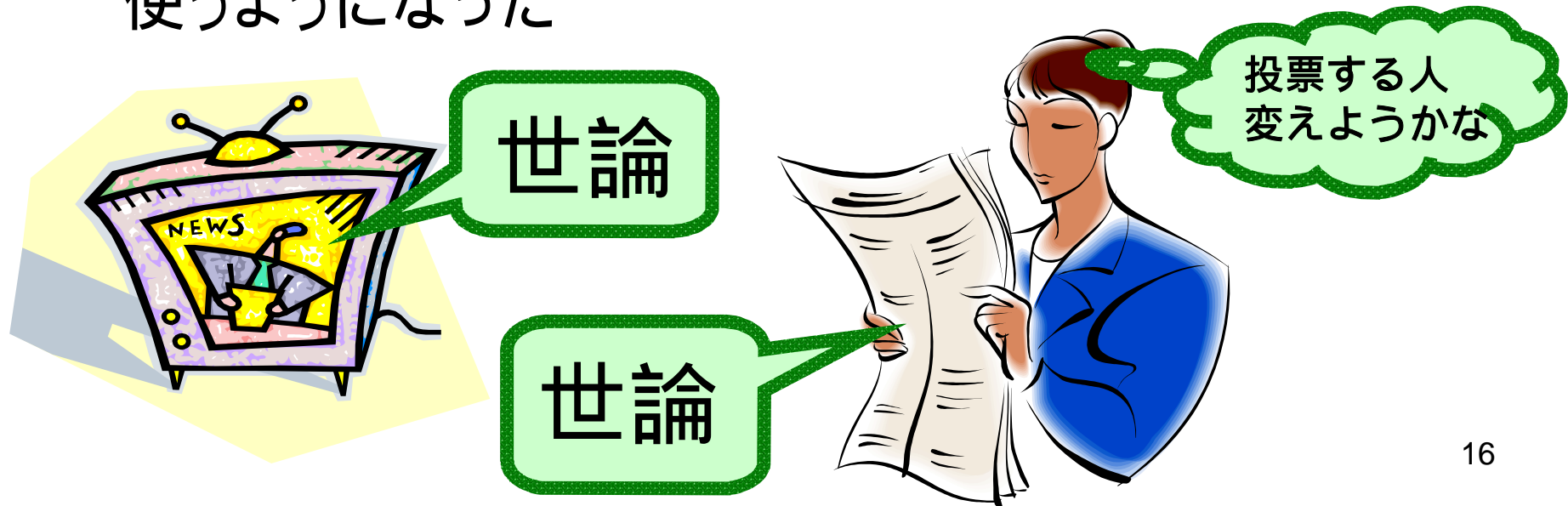
大学生は、政治家の知名度や人気を気にしている

# アナウンスメント効果

## サイモン(1970)

選挙に関する世論調査の結果を見聞きして  
有権者が投票行動を変える現象

もともとは経済用語だったが、日本では政治行動でも  
使うようになった





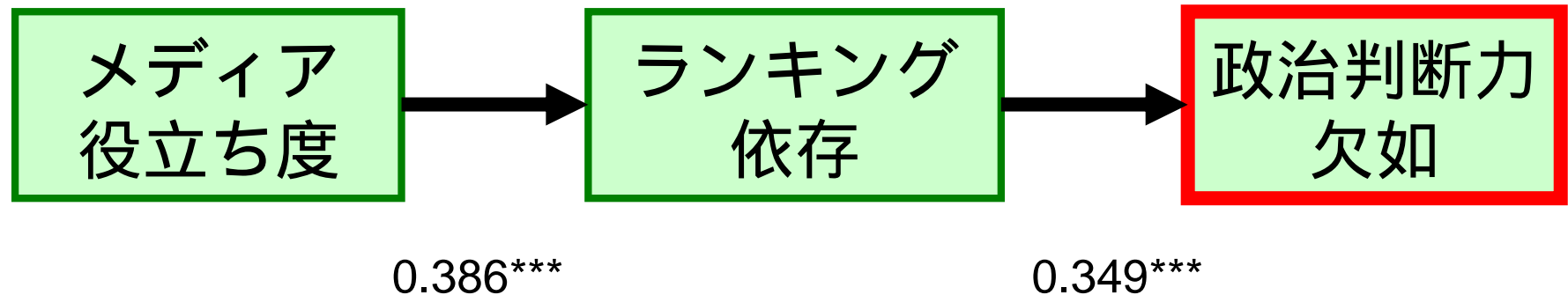
# バンドワゴン効果

## ラザースフェルド(1944)

事前の報道などで人気のある候補者により多くの投票が集中する効果



# 政治判断力欠如のパス解析モデル



数値は標準化係数

有意差水準: \*\*\* $p < 0.001$  \*\* $p < 0.01$  \* $p < 0.05$

メディアは役立つと考えランキング依存に陥り  
政治に関する判断力が欠如しやすくなる

# 政治に関する判断力が 欠如した社会では・・・

政治に関する判断力が  
欠如した人



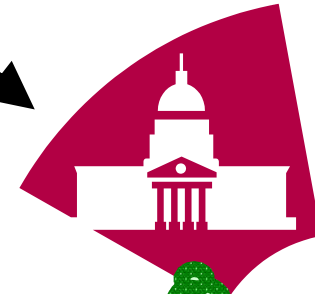
投票の時など、周囲の  
意見に流されてしまう



選挙の  
人気投票化



政治の  
マーケティング化

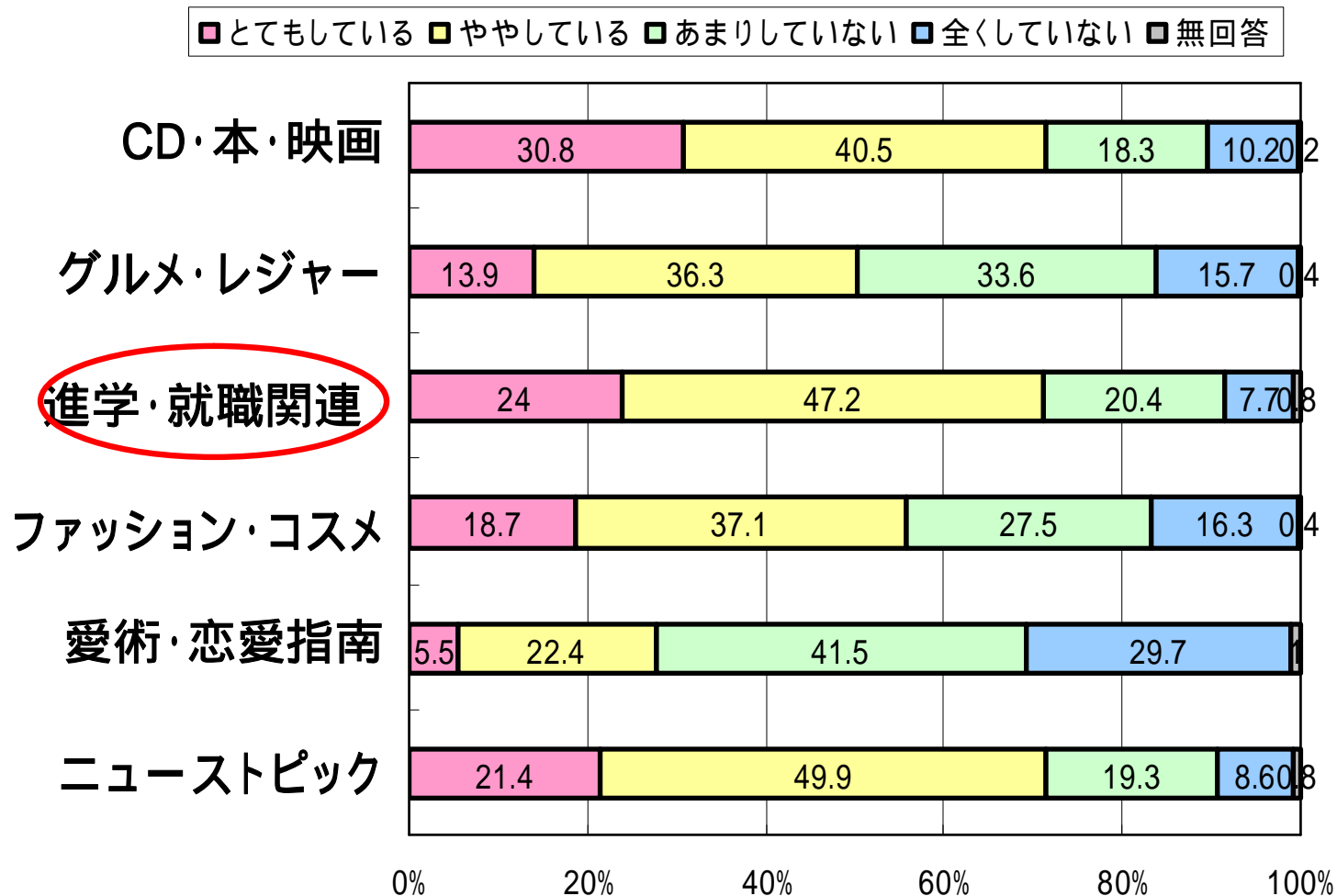


民主主義の  
崩壊！？

# 進路の決断力欠如

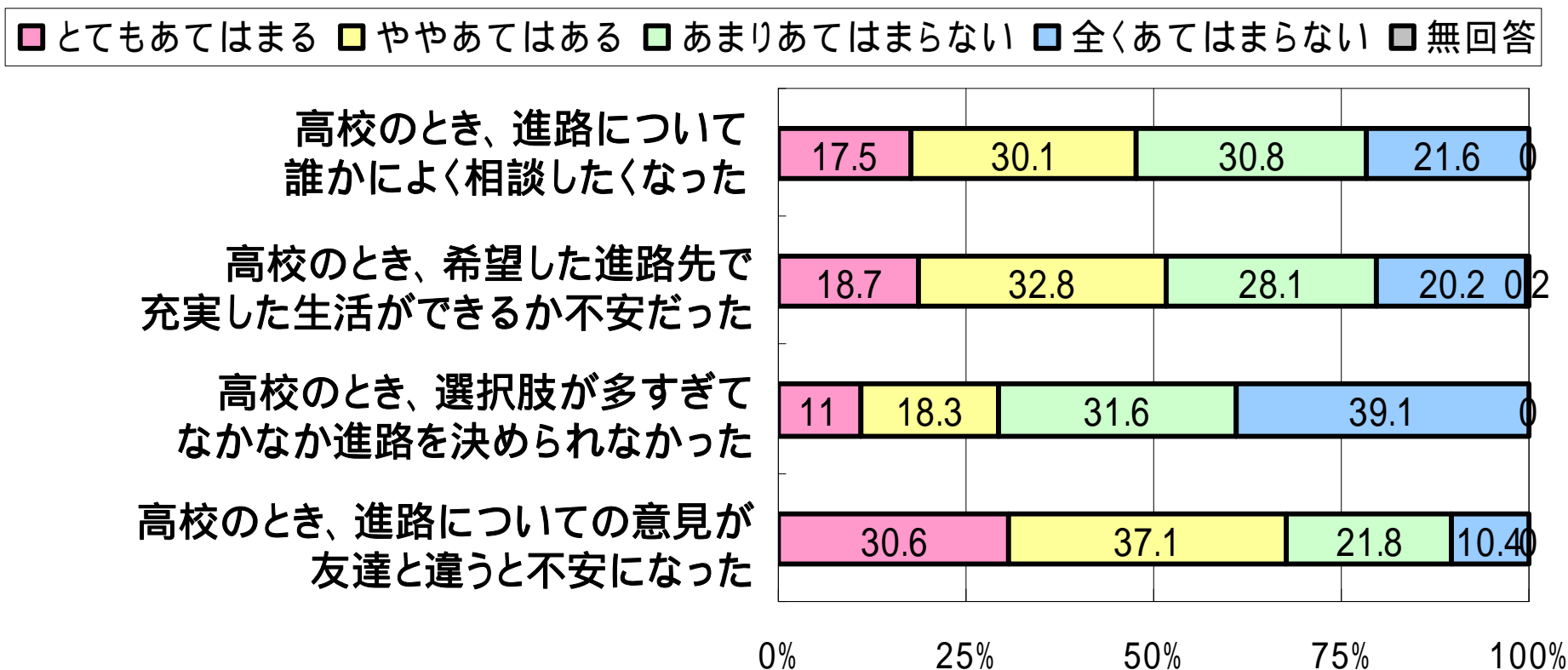


# ジャンル別ランキング影響 (N=509)



生活消費だけでなく、**進学・就職**関連の  
ランキングを信頼する人が**70%**もいる

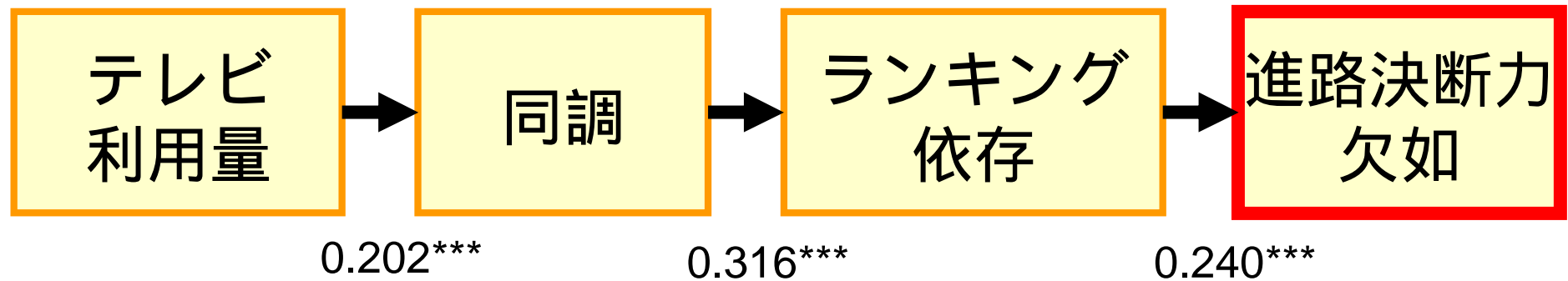
# 進路の決断力欠如(N=509)



進路を決定する際

周囲の意見を気にする傾向があった

# 進路の決断力欠如のパス解析モデル



数値は標準化係数

有意差水準: \*\*\* $p < 0.001$  \*\* $p < 0.01$  \* $p < 0.05$

テレビを利用する人ほど同調傾向が高くなり  
ランキング依存し、進路を決められなくなっていく

# 進路の決断力が欠如した社会では・・・

進路の決断力が  
欠如している人



他者に流された  
進路決定をしてしまう



すぐに進学先を辞める



進学後もやりたいことが  
わからない

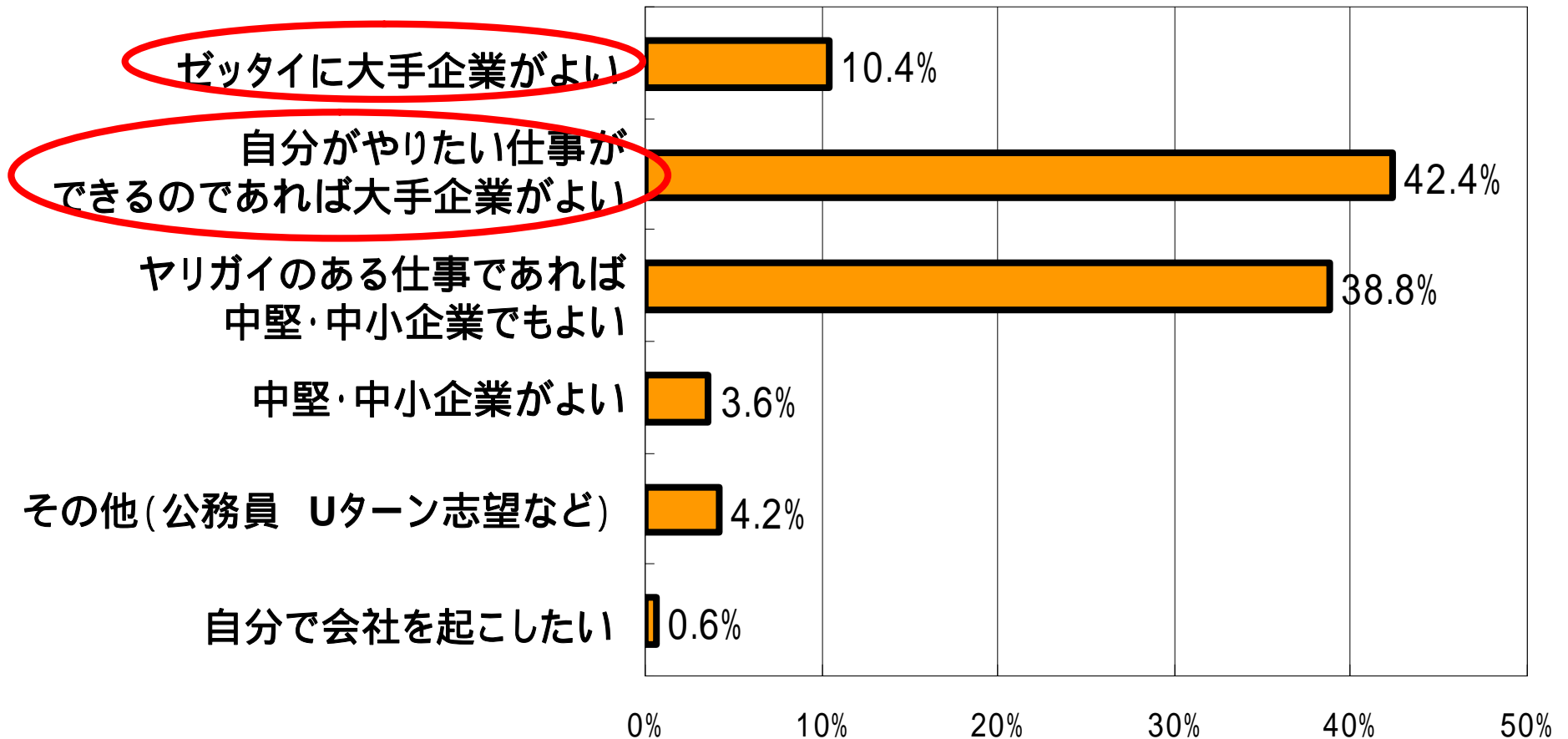




# 就職の決断力欠如



# 大手企業志向



出典: 毎日コミュニケーションズ (2008) 大学生の就職意識調査結果報告

大手企業に惹かれる人が約半数いる!!

# 就職の決断力欠如(N=509)

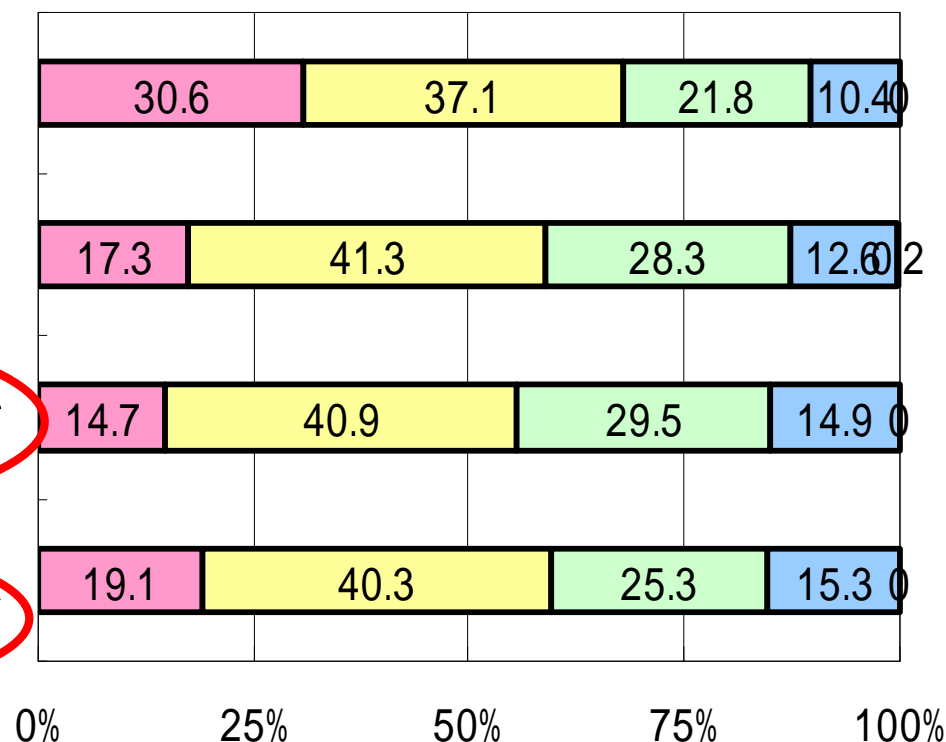
■ とてもあてはまる ■ ややあてはある ■ あまりあてはまらない ■ 全くあてはまらない ■ 無回答

誤った職業決定してしまうのではないかと  
不安に思う(思っていた)

職業生活が安定するなら、妥協して  
職を決めてもいいと思う(思っていた)

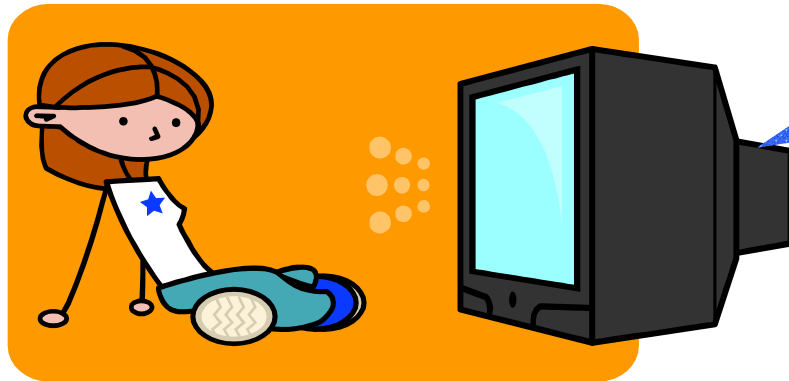
職業選択の際、何を基準にしてい  
いかわからない(わからなかった)

できるだけ有名な  
企業に就職したい(したかった)



どの質問もあてはまる大学生は50%を越え  
就職先を決めるのを困難に感じている

こんなことはありませんか??



A社は現在急成長中・・・

テレビで言っていたことを・・・

今、**A社が急成長中**だから  
A社に行きたいわ！！

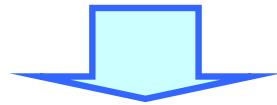
そのままオウム返し!!



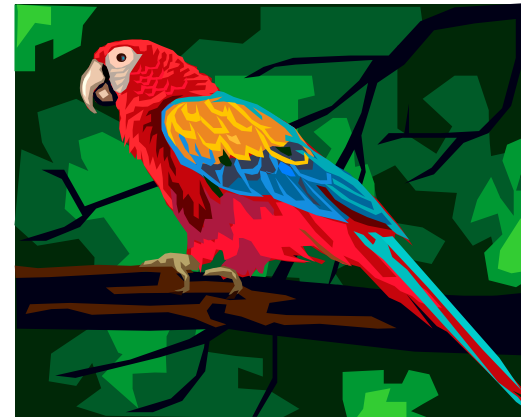
# パロティング

石川(2004)

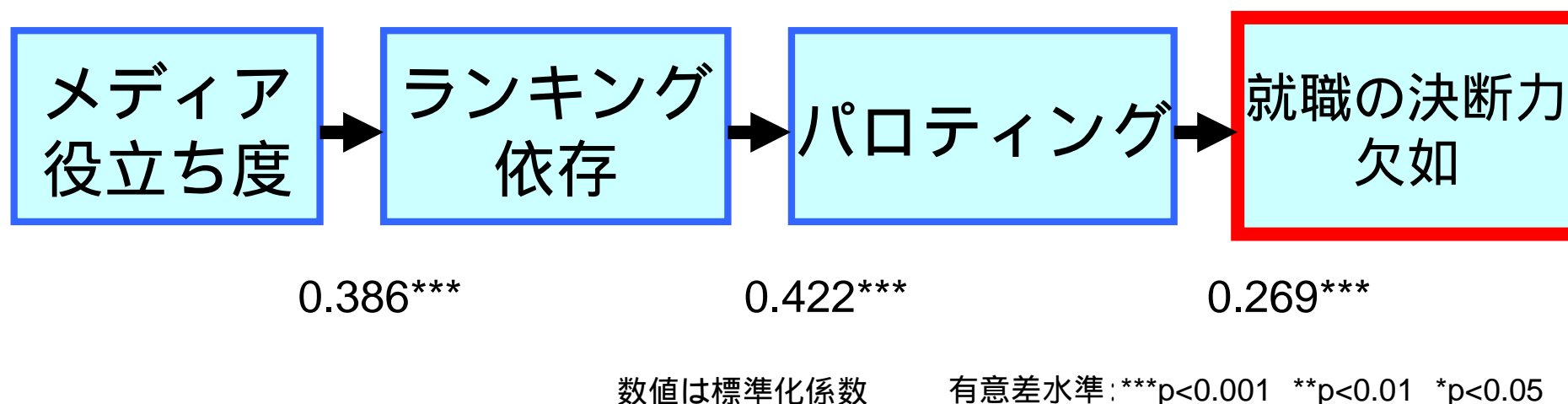
メディアが述べていた論調をそのままを  
自らの意見と錯覚して受け売りで答える行為



「メディアによって伝えられた情報」を  
オウム返しにしているだけ



# 就職の決断力欠如のパス解析モデル



メディアは役立つと考えている人ほど、ランキングに依存し与えられた情報を自分の意見と錯覚するようになり就職決断力欠如に・・・

# 就職の決断力が不足した社会では・・・

就職の決断力が  
欠如している人



就職活動の時に自分で  
決められない人



早期退職や  
転職の増加



仕事にやりがい  
が持てない

エピソード

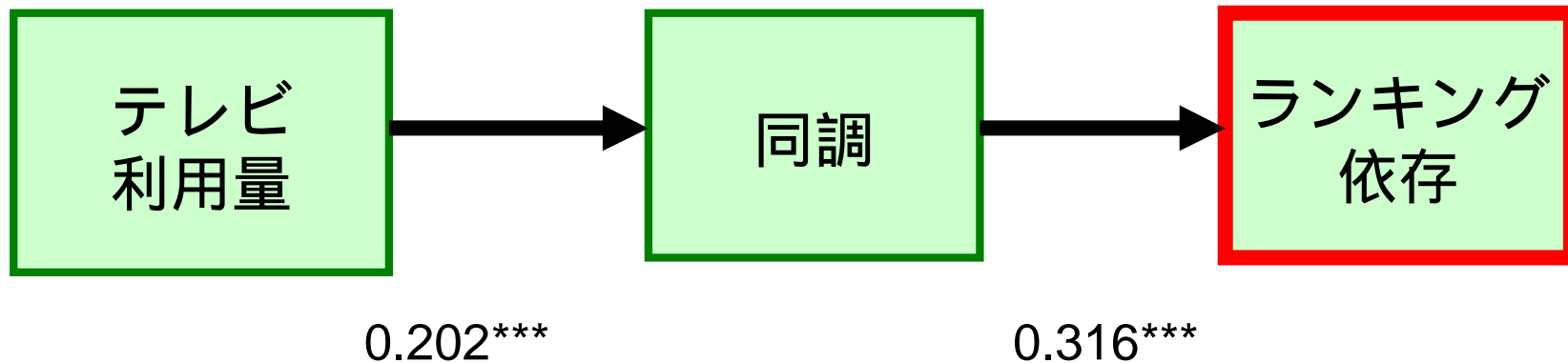
# 功罪

～ 私たちはどうしていくべきか～



おさらい

## ランキング依存のパス解析モデル

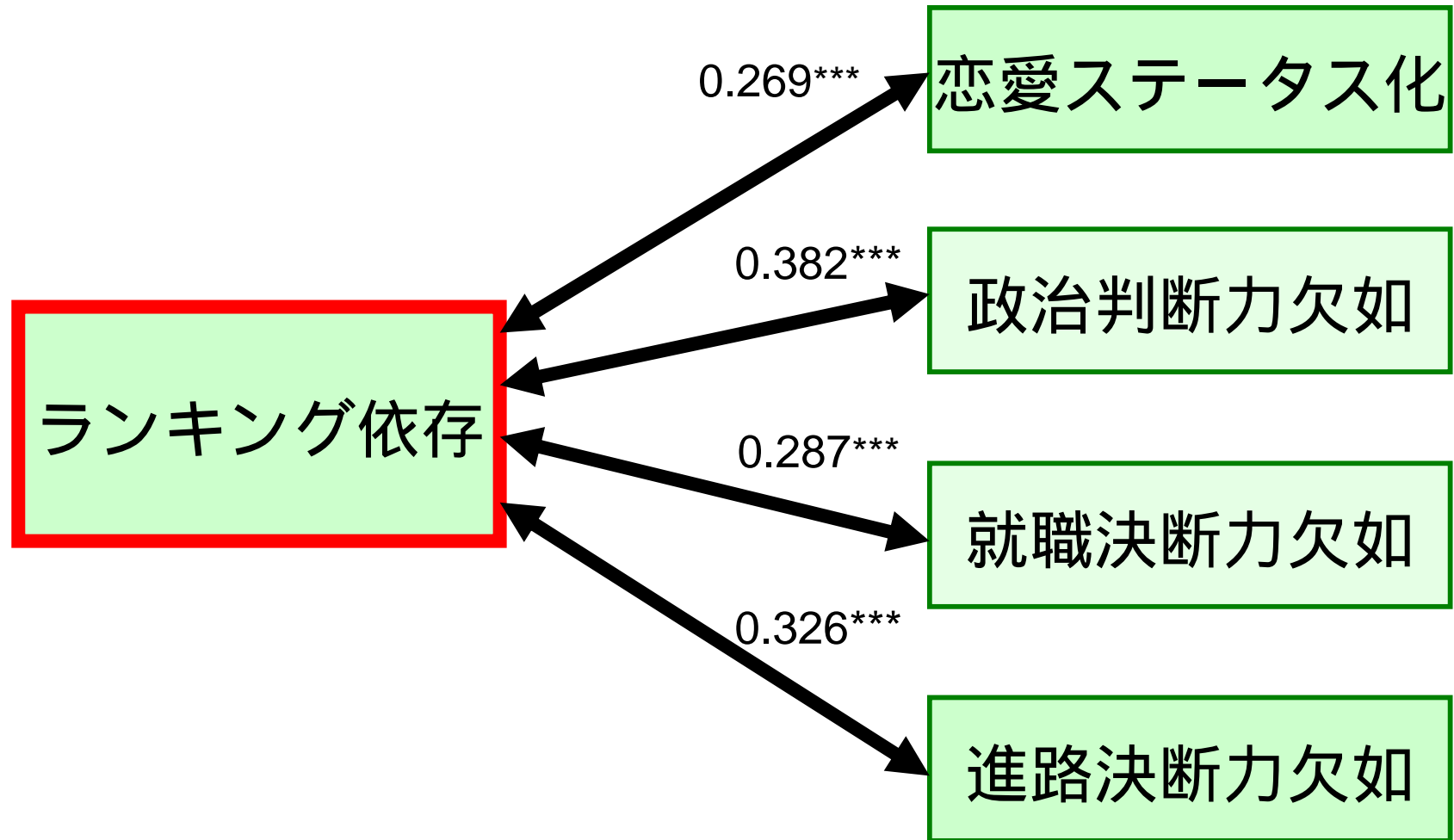


数値は標準化係数

有意差水準: \*\*\* $p < 0.001$  \*\* $p < 0.01$  \* $p < 0.05$

おさらい

## 将来観の相関モデル



数値は相関係数 有意差水準: \*\*\* $p < 0.001$  \*\* $p < 0.01$  \* $p < 0.05$

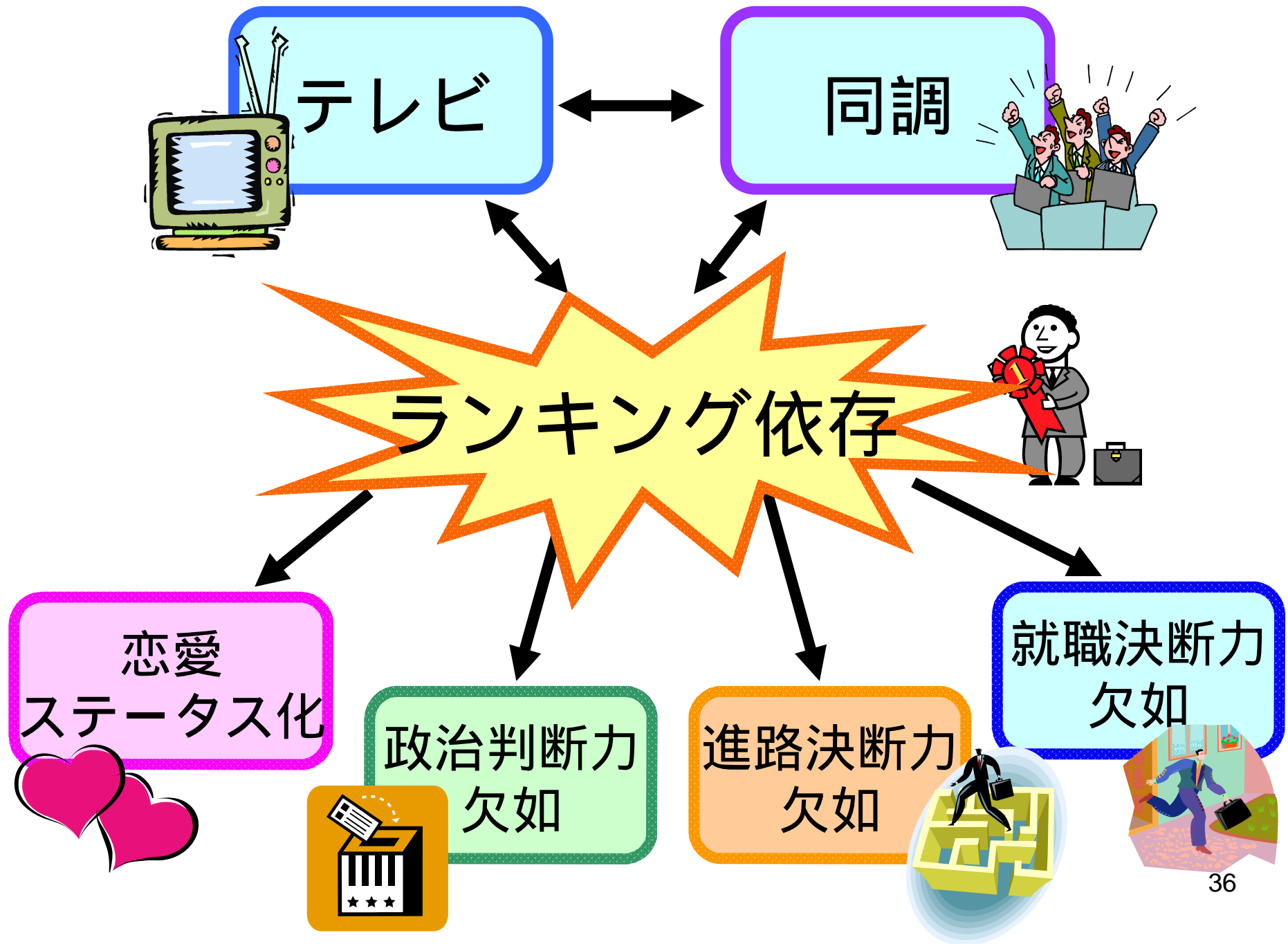
# 分析結果

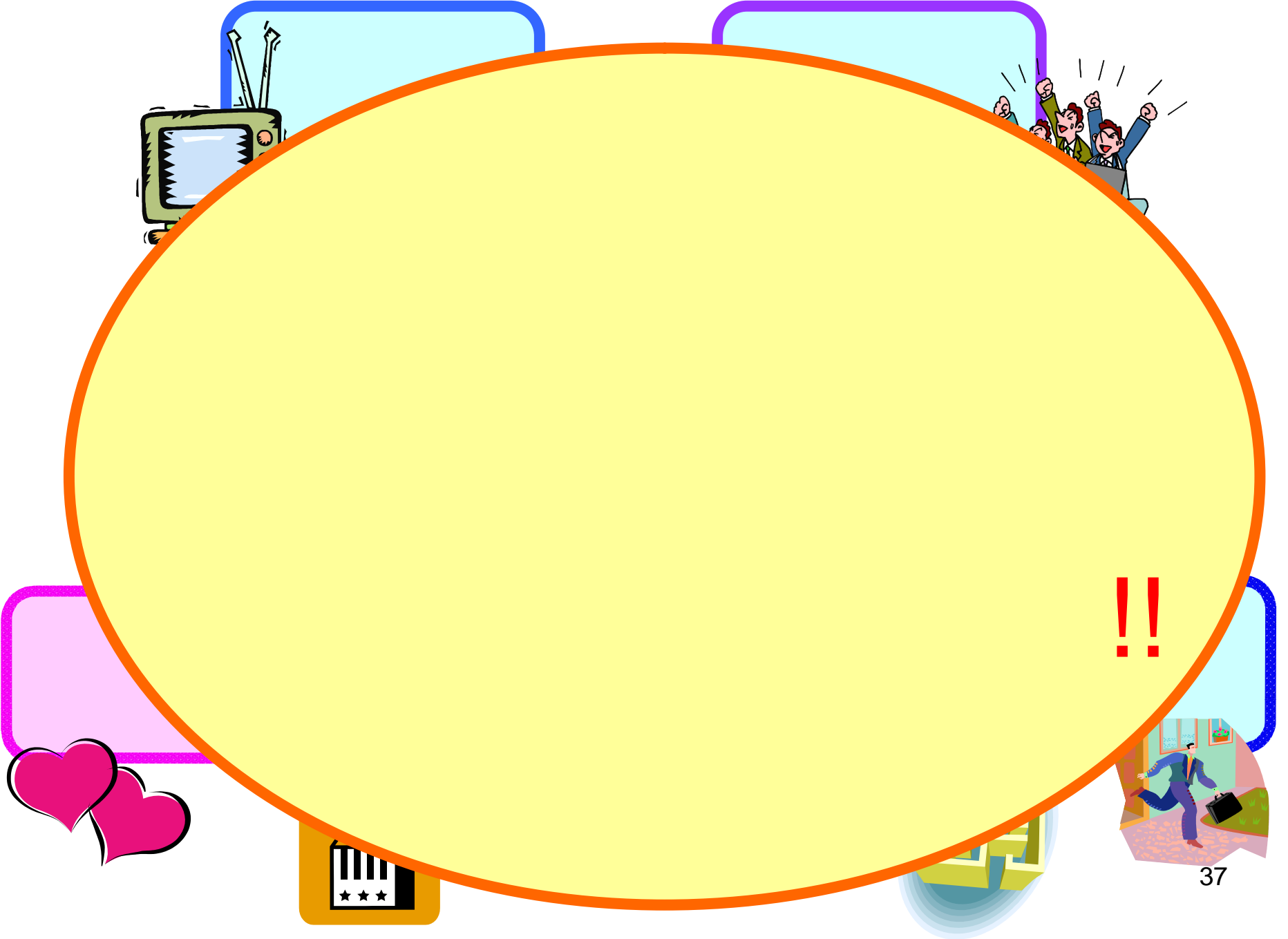
テレビの利用量が多い人ほどランキング依存傾向にある

同調心理がランキング依存傾向につながる

ランキング依存傾向に至るメディアは、男女別に見ると男子が携帯電話であり、女子はテレビである

ランキング依存傾向にある人は、恋愛、政治、進路、就職という、私たちの将来に関わる意識も他者の影響を受けやすくなっている





大学生は、重大な判断でも  
ランキングやメディアの影響を  
強く受けていた

仮説が実証された!!

# ランキングの「功」と「罪」

## 功

情報を整理してくれる

流行などが簡単にわかる

豊富な話題の提供

企業側の効率がよくなる

## 罪

自分で情報を整理しなくなる

下位の良いものを見逃してしまう

1位のものばかりが注目される

企業の宣伝に流されてしまう

ランキングの良いところと悪いところは裏返し・・・ 38

# ランキングが過剰に浸透した社会では

結婚、政治参加、進路決定、就職活動のとき  
知らないうちに私たちの意識に影響し  
自分なりの判断ができなくなる

すると

少子化??

投票率低下??

就業率低下??

産業の衰退??

# ランキングが過剰に浸透した社会では

結婚、政治参加、  
知らずのうち  
自  
職活動のとき  
に  
響し

国力低下の可能性が！！

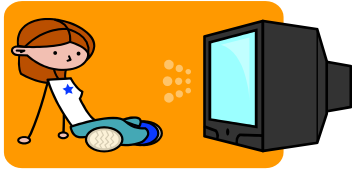
下??

就業率低下??

産業の衰退??



# メディアとの付き合い方



メディアはランキングを発信している  
メディアは整理された、わかりやすい  
情報を私たちに与えてくれる



しかし



1つのメディアに偏りすぎたり  
情報を信頼しすぎてうのみにすることは危険!!



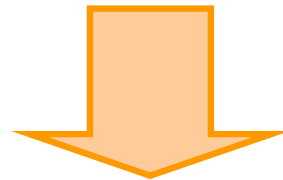
じゃあ、どう付き合っ  
ていけばいいの??

よりよい関係を築くために

情報収集の過程を楽しもう

ランキングに載っている背景を考えよう

参考にしながら自分らしさをプラスしよう



ランキングやメディアは便利なツール  
上手に付き合っていこう!!

# さあ、皆さん！！

ランキングとメディアを  
ツールとしてうまく使って  
自分流の「こだわり」を  
持とう!!



買い物も、恋愛も自分らしくね

進路も就活も「自分」を大切に

# 福田充ゼミナール

ゼミ長	佐々木祐子
副ゼミ長	新村貴文
	莊子侑加
	岡田朋子
	中島早紀
	野村洋千
	山下美穂



我ら  
福田ゼミ6期生!



「静聴ありがとうございました」